

第7回 加茂市都市計画マスタープラン策定委員会
議事要旨

日時：令和6年10月17日（木）14：00～

場所：加茂市役所 302会議室

出席者：以下のとおり（敬称略）

区分	氏名	所属・団体名
第1号 学識経験者	松川 寿也	長岡技術科学大学 准教授
	鈴木 孝男	新潟食科農業大学 教授
第2号 関係団体	海津 恵美	七谷さとやまふぁーむ
	佐藤 愛子	えちご中越農業協同組合 経営管理委員
	川崎 大一郎	株式会社 川崎薬品商会
	川上 和哉	有限会社 川上製作所 代表取締役社長
	藤田 和子	特定非営利活動法人 わくわくクラブ 理事長
第3号 その他	片岡 廣夫	公募委員
	笹川 裕子	公募委員
	森田 佑介	公募委員
オブザーバー	安井 和也	新潟県三条地域振興局地域整備部 部長

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 第6回策定委員会の振り返りについて
 - (2) 第3回地域別懇談会について
 - (3) 地域別の方針（案）について
- 4 事務連絡
- 5 閉会

(1) 第6回策定委員会の振り返りについて

～事務局資料説明～

【意見交換】

- ・意見なし

(2) 第3回地域別懇談会について

～事務局資料説明～

【意見交換】

(委員)

- ・資料の基本目標のオレンジの四角に関連するオレンジの点線の部分であるが、それは基本目標の対象エリアとして点線で囲ってあるという認識で良いのか。
→ (事務局) そのとおりである。基本目標とエリアの囲みの色を合わせている。

(委員)

- ・基本目標の部分に1段下げて「基本目標の主な対象エリアを点線で囲っている」と書いてもらうと、ここが主な対象エリアであることが分かりやすい。
→ (事務局) ご意見を踏まえて検討する。

(委員)

- ・「6. 都市づくりの目標」に「無秩序な市街地の拡大を抑制し」というフレーズがあるが、商業施設についてはどこに誘導する方針であるか。千刈地区の未利用地という認識でよいのか。
→ (事務局) 市としては、千刈地区などの未利用地に建ててもらいたいと思っているが、商売となると、売れる場所などの条件がある。民間で選ばれる場所は職種によっても変わってくる。そのため、特定の場所については断言できない。

(委員)

- ・計画の前提として、将来の人口はどのように想定しているのか。
→ (事務局) 将来人口を示しているが、減るという前提である。

(委員)

- ・地域別懇談会では、人口に関する意見は多少あがると思う。人口減少を食い止めるために、今生きている人たちが住みやすくするための計画として説明してほしい。

(委員)

- ・初めての都市計画マスタープランのため、完璧な計画を作る必要はない。まずはここからスタートして、適宜計画の修正を行えばよい。

(委員)

- ・11ページの方針図であるが、コミュニティセンターが3つ載っていて、「中央コミュニティセンター」だけ「コミュニティー」と伸ばし棒が入っている。また、「かも川荘」の荘の字が違う。修正をお願いしたい。

→ (事務局) 修正する。

(委員)

- ・今回の地域別の説明は、地域の課題が一番大きいのではないかと思うと、全体構想と比較して薄いという印象が残る。

→ (事務局) 全体構想の中で位置付けているものについては、各地域の課題からは除いている。課題は様々あり、載せ切れていない部分もあるが、地域別懇談会やアンケートで頂いた意見としては、概ねこの内容が中心になってくると考えている。

(3) 地域別の方針(案)について

～事務局資料説明～

【意見交換】

(委員)

- ・資料4の129ページと130ページの土地利用状況について、地域全体では森林になっているが、都市計画区域内になると山林になっている。また、地域全体だと建物用地になっていて都市計画区域だと住宅用地になっているなどの不整合がある。これはやむを得ないのか。

→ (事務局) 都市計画基礎調査と国土数値情報を使用しており、出典が異なるため、このような表現となっている。

(委員)

- ・123ページの右下で、市民アンケートの赤枠で囲っている部分で、例えば医療施設は最も重要度が高くて満足度が低い青字になっていない。一番厳しい値が出ているが、この辺の青字にする・しないの判断の基準を確認したい。
→(事務局) 地域に特化した課題を考えている。医療施設は、どこの地域でも問題になっている。七谷地域でこれを課題にすることで、七谷地域に医療施設を持ってこられるかという、なかなか難しいのが現状である。そこだけにフォーカスを当てるのは難しいということで、明確な基準はない。明確な基準はなく、内部の協議の下、決めた形である。

(委員)

- ・加茂地域を見ていると、医療施設の整備の満足度が低くて重要度が高いとなっているが、加茂地域に住んでいる限り、医療施設は充足していると感じる。そこにご高齢の方は通って、健康も保たれていると思うが、医療施設の整備というのがここに挙がってくるのは、診療科の問題なのか。
→(事務局) 加茂地域は地域として広いため、例えば狭口地区などは近くに病院があった方がよいなどの意見もあるかと思う。

(委員)

- ・加茂病院を充実してもらいたいというのが市民の意見ではないか。

(委員)

- ・七谷地域に関しては、まちが細長いキュウリのような形である。そういう縦長軸の中で物を考えていくときに、今は地域別であるが、七谷とまちとの関係は今後しっかりと視野に入れなければならない。

(委員)

- ・中心商店街と市役所周辺の新商店街、駅前商店街であるが、これは明確に性格が違う。そのため、それぞれ今の加茂の生活に合った西側と、歴史を持った重みがあって深みのある旧中心商店街という部分は、明確に商業空間を分けて取り組んでいく必要がある。

(委員)

- ・歩行者・自転車道の整備というのが加茂地域にあって、非常に良いことだと思う。これから高齢者が増加し、車を手放される方も時代の流れで出てくる中で、車と歩行者と自転車が絡み合って、この辺は事故が非常に起こりやすいと思っている。
→(事務局) 駅前には県の道路整備により対面通行できるようになっている。歩道も整備されている。自転車との交錯については考える必要はあるが、方針として位置付けるのは難しい。

(委員)

- ・120 ページの七谷地域について、②の人口の説明は、どの地域も同じようなテンプレートで書いてあるが、文書が長いため、矢印などで簡潔に記載してほしい。
→ (事務局) 修正する。

(委員)

- ・127 ページの七谷地域について、拠点の青のエリアが議論になってくる。中学校と小学校が廃合することが決まっているため、意見が割れるところだとは思いますが、現状を踏まえた拠点設定を行ったことを説明していただけるとありがたい。地域住民の意見も踏まえて修正できるような柔軟性のある計画であることも説明してほしい。

(委員)

- ・西加茂地域について、403 号バイパスと 403 号の沿道景観の方針があるが、県道長岡栃尾巻線の縦軸についても位置付けるべきである。加茂市は国道 8 号から粟ヶ岳の水源地まで縦軸上に景観の特徴がある。
→ (事務局) 全体構想には位置付けており、ご意見のとおり県道長岡栃尾巻線の縦軸も位置付ける。

(委員長)

- ・景観計画を作れば条例により実効性も伴うため、そういった取り組みでぜひ良い景観をつくってほしい。

(委員)

- ・下条地域の将来像の文章に地域を担う子どもや子育て世代などが住みよいまちと記載されているが、なぜこの地域のみ特化しているのか。
→ (事務局) 下条地域は年少人口の割合が他の地区と比べて高く、地域別懇談会の中でも子育てに関する意見をいただいている。横江団地も市内の中では人口比率が高い地域であり、今後の子育て世代のニーズも踏まえ、位置付けている。

(委員)

- ・下条川というのは加茂川のコンパクト化である。加茂川流域を小さくしたようなまちが基本となっている。下条地域はまちに近い位置で暮らすには都合がよく、横江の団地は人気が高いため、転入者が多い。

(委員)

- ・下条地域に子どものことが書いてある割には方針に位置付けがなく、違和感がある。

(委員長)

- ・西加茂地域と下条地域の 403 号バイパスのハッチの色の統一感がないため、色使いについても検討してほしい。
→ (事務局) 再検討する。

(委員)

- ・須田地域について、拠点の場所について再配置等も踏まえて地域住民に説明してほしい。

(委員)

- ・須田地域は農村集落であり、田んぼや果樹をやられている方が多い。そのなかで、「須田工業団地を核とした」というインパクトのある文言であるため、賛否があると思う。地域住民の方の意見を聞いてほしい。

(委員)

- ・将来都市構造の交通軸にも景観の要素を反映してはどうか。

(委員)

- ・将来都市構造の中心都市拠点の範囲が大きく、西加茂地域の市役所周辺に都市機能が集約されていくイメージがある。加茂川のポテンシャルを考えると、商店街の賑わいをどのように取り戻すのが課題である。

(委員長)

- ・地域としての具体的な方策について即知的に示せるのであれば、良い地域別構想になると思う。

事務連絡

- ・次回の第 8 回都市計画マスタープラン策定委員会の日程は、12 月 23 日(月)を予定する。

以上